

Write2Go

ユーザーマニュアル

Release: 2016/01

Version: Mac v1.0

Penpower Technology Ltd.

ソフトウェアの使用者に関する使用許諾契約

この使用許諾契約（以下「本契約」と呼称）に基づいて、Penpower Technology Ltd.（ペンパワー・テクノロジー株式会社）（以下「Penpower」と呼称）により、本製品のユーザー（以下「ユーザー」）に対し、本ソフトウェアのプログラム（以下「当該ソフトウェア」と呼称）を合法的に使用する許諾（ライセンス）が付与されるものとする。もしユーザーがこの契約中、いずれかの規定に合意しない場合は、当該ソフトウェアのインストール、複写、または使用を行なわないものとする。当該ソフトウェアを使用することにより、ユーザーは、この契約の規定を十分に理解するとともに、それを受諾するものとみなされる。

第1条 知的所有権

当該ソフトウェアの商品パッケージに含まれた全ての情報、および文書、ならびに当該ソフトウェアにおける全ての知的所有権（著作権を含むが、これに限定されないものとする）は、Penpowerの財産権に属するとともに、これに関連した法律、および規定により法的に保護されるものとする。

第2条 使用許諾（ライセンス）

ユーザーは、1台のコンピューター上でのみ、当該ソフトウェアを使用することが許諾されるものとする。ユーザーは許諾されたコンピューターと違うコンピューター上では当該ソフトウェアを使用することができないものとする。

第3条 複写に対する権限

当該ソフトウェア、および当該ソフトウェアに含まれた全ての文書、およびこれに関連した著作権は、Penpowerの財産権に属するものとする。ユーザーは、その個人的なバックアップの目的のために、当該ソフトウェアの1つの複写を作成することが認可される。その他のあらゆる複写行為等は、厳格に禁止されるものとする。

ユーザーは、当該ソフトウェアの販売、賃貸借、分解、リバース・エンジニア、複写、変換、改造、もしくは改編を行なわないものとし、また、どのような手段によっても当該ソフトウェアのソース・コードを取得しないものとする。ユーザーは、この契約に基づいて許可された目的以外の何らかの目的のために、当該ソフトウェアを使用しないものとする。

第4条 法人ユーザー

ユーザーが1つ以上のコンピューターで当該ソフトウェアのインストールや使用を行なう場合、Penpowerまたは居住国の販売元に連絡し、追加使用のための許諾ライセンスを購入するものとする。

第5条 使用者責任

ユーザーは、ユーザー自身による本契約の違反から、損害、費用、負債、法定費用等（弁護士費用に限らず）が生じた場合、Penpowerをそれらの費用すべての債務から免責し、かつ、上述の損害がPenpowerに発生した場合は、これを補償することに同意する。

第6条 保証外事項

情報の処理を行う際のパッケージソフトウェアの効果は、そのソフトウェア、およびハードウェアの環境と密接な関連性を有する。当該ソフトウェアは、Penpowerにおいて注意深く開発され、製品検査を経て発行されているが、Penpowerが、ソフトウェアとハードウェアの環境について、全ての可能な組み合わせで検査を行なうことは不可能です。この故に、Penpowerは、当該ソフトウェアのインストールや動作している間、情報が喪失したり、損害が与えられるリスクなどが全く存在しないということを保証することはできないものとする。ユーザーは、当該ソフトウェアの使用において、ユーザー自身がそのリスクに対しては十分に認識しなくてはならないものとする。

Penpowerは、当該ソフトウェアをユーザーに提供するとともに、法律の許可する最大の範囲において、当該ソフトウェアに関するサービスへのサポートを行なうものとする。しかしながら、Penpowerは、当該ソフトウェア、および当該ソフトウェアの商品パッケージに含まれた情報が、瑕疵、または欠陥を有さないことを保証はしないものとする。Penpowerは、当該ソフトウェアから生じたいかなる間接的、特別、または偶発的な損失に対しても責任を負担しないものとする。この損失に関しては、当該ソフトウェアの商業上の使用から生じる利益の損失、業務に関する評価への低下、業務の停止、ハードウェアの機能不全、またはその損傷、もしくはその他の何らかの商業上の損害、または損失を含み、また、これらに限定されないものとする。

第7条 責任および損害賠償の限定

この契約に基づいて、ユーザーが何らかの理由により被ったあらゆる損害に関して、Penpowerが支払うべき損害賠償の最高金額は、当該ソフトウェアに関してユーザーが既に支払いを行なった金額を上限とするものとする。

Penpowerはいかなる場合であっても、Penpowerがそのような損失の可能性を認識しているかどうかの如何に拘わらず、その損失の可能性に対する責任を負担しないものとする

第8条 ライセンスの2次許諾の禁止

ユーザーは、本契約に基づき、ユーザーに付与される当該ソフトウェアの使用許諾ライセンスを譲渡することはできない。また、第3者に2次的使用許諾（サブライセンス）を与えることもできないものとする。

第9条 司法管轄権

この契約から生じたあらゆる争訟に関して、Penpowerおよびユーザーは、第一審の裁判所は、Penpowerの事業所在地において司法管轄権を有する裁判所であることに同意する。

第10条 雑則

この契約における何らかの規定が法的に無効であると認定される場合があっても、その無効は、その他のあらゆる規定の効力に対して影響を及ぼさないとともに、そのような規定の法的施行性に対しても影響を及ぼさないものとする。

目次

第1章 商品紹介.....	1-1
第2章 インストール.....	2-1
2.1 システム要件	2-1
2.2 ソフトウェアのインストール	2-1
2.3 ハードウェアのインストール	2-2
2.4 Write2Go の説明	2-2
2.5 Write2Goを起動	2-4
2.6 タブレットのキャリブレーション.....	2-5
2.7 ユーザー登録	2-6
2.8 テスト用ツール	2-6
第3章 筆跡モード.....	3-1
第4章 メモ管理ツール.....	4-1
第5章 手書認識モード	5-1
第6章 設定	6-1

ユーザー・マニュアルを発行した時点で、ソフトウェアが既に最新バージョンに更新されていることがあり得ます。この場合、ソフトウェアの表示画面が、ユーザー・マニュアルと異なることがありますので、予めご了承ください。

最新の製品情報は、Penpower社WEBサイト http://www.penpower.net/index_en.html のサポートページまたは国内販売元ホームページに適宜掲載致します。また、ユーザー登録された方には、プログラムの更新情報を、Penpowerないし国内販売元ホームページの製品サポートページないしメールで適宜ご案内を致します。

第1章 商品紹介

※ 書いて共有、デジタルメモを効率的に管理します

- ノートを取り、To-Doリマインダーや、ショッピングリスト等を簡単に作成することができます。
- メモを保存してGoogleカレンダーにスケジュールを登録することができます。
- メモをカテゴリーで分類し、ラベルや色で区別することができます。

※ 手書きの内容をインスタントメッセージで送信

- PC/ Mac版のLINE, Facebook Messenger, Skype, QQ, WeChat, KakaoTalk, Nimbuzzを介して連絡先にメッセージや絵を送信することができます。ユーザーは筆跡の太さや色を変えて書くことができます。

※ Win / Macの電子文書に署名を挿入

- 署名するために文書を印刷する必要はありません。ボードにサインをしてWin/ Mac上の電子文書に手書きの署名を送信するだけで署名プロセスが完了します。Word、EXCEL (MacではPDFや画像はサポートしていません) などのファイル形式をサポートしています。

※ すぐにメモを残す

- ボードをコンピューターに接続せずに自由に手書きボードにメモ、メッセージやスケッチを残すことができます。Write2Goは、紙を節約するための環境に優しいツールです。3Vボタンバッテリーを使用しており、50,000回以上の消去サイクルをサポートしています。

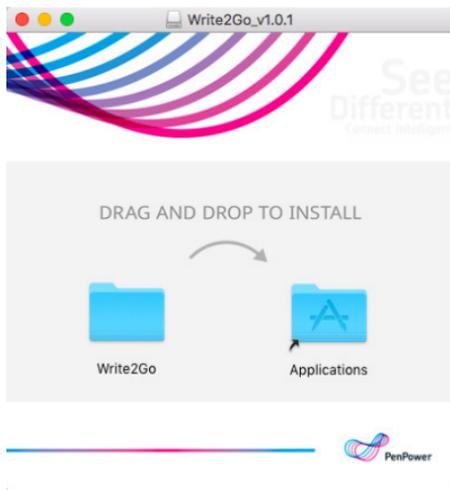
第2章 インストール

2.1 システム要件

1. Mac OS X 10.9 以上
2. USB port

2.2 ソフトウェアのインストール

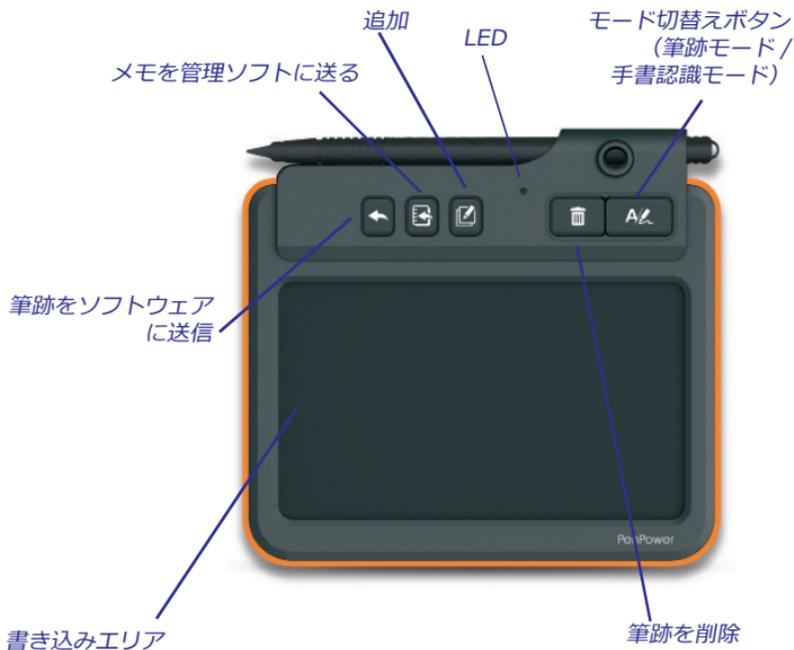
1. CDをCD/DVDドライブに挿入し、dmgファイルをダブルクリックします。
2. Write2GoフォルダーをApplicationフォルダーにドラッグ&ドロップしてインストールします。 .



2.3 ハードウェアのインストール

Write2Go手書きボードのUSBケーブルを使ってPCに接続してください。接続すると、青色のLEDが点灯します。

2.4 Write2Go の説明



Write2Goは最新のePaper技術を採用しております。手書きボードはCR2032ボタン電池を使用しており、筆跡を50,000回消去することができます。

もし、USBケーブルを外した状態でボード上の筆跡が消去できない場合、CR2032電池を交換してください。

バッテリーを交換する

1. ボード背面の電池カバーのネジを緩めてからバッテリーカバーを開け、古いバッテリーを取り出します。



2. 新しいバッテリーを入れカバーを閉じてからネジを締めます。



青色のLEDは手書きボードから筆跡を消去する都度フラッシュします。また、パネルも同時にフラッシュします。消去プロセスに要する時間は1.5秒です。消去プロセスが完全に終わってから次の文字を書き始めてください。

注：消去プロセスの間は書かれた筆跡は記録されません。

注：御使用前にバッテリーのプラスチックカバーを外して御使用してください。

2.5 Write2Goを起動

インストール後、「アプリケーション」/「Write2Go」/「Write2Go」をクリックしてプログラムを起動します。



2.6 タブレットのキャリブレーション

はじめて使用するときは、マニュアルに沿ってキャリブレーションを行ってください。ボード上の手書きの位置とスクリーン上の筆跡の位置のずれが防止できます。

1. 手書きボードの上部左側の赤いポイントをタップしてください。



2. 次に手書きボードの下部右端の赤いポイントをタップしてください。



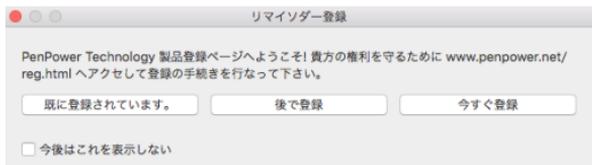
ヒント：「リセット」をクリックするとキャリブレーションをやり直すことができます。

ヒント2：キャリブレーション後、キャリブレーションの結果がすぐに反映されますので、Write2Goのプログラムを再起動する必要はありません。

2.7 ユーザー登録

ソフトウェアを起動する際、保証サービスが適用されるよう、登録サイトでの製品登録を促すポップアップウィンドウが開きます。「今すぐ登録」をクリックすると、登録画面が開きます。「後で登録」をクリックしておいて、後ほどツールバーから「登録」ボタンをクリックして確認することもできます。上記登録は、世界共通のグローバル登録で英語表記になります。

また、但し日本在住のユーザーの方は、同梱の「製品保証書兼ユーザー登録票」と「登録方法について」をご覧ください。



ヒント: この「登録通知」を再び表示したくない場合、「起動する際にこのページを表示しません」のチェックボックスにチェックを入れてください。

2.8 テスト用ツール

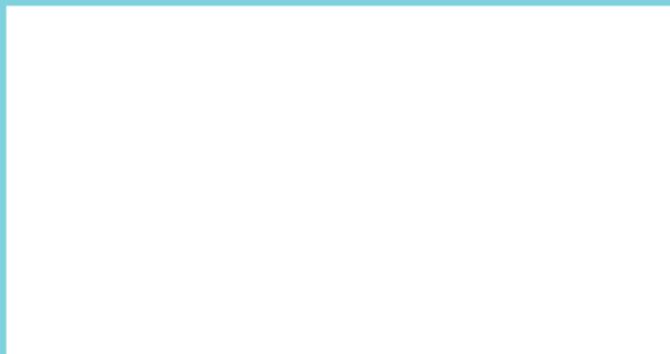
Write2Goは抵抗式タッチパネル技術を採用しています。PCが適正な筆圧を受けられるよう書く力を調整してください。筆跡テスト用ツールはキャリブレーションの後の手書きの力のテストするためのものです。手書きボードに書くと筆跡テスト用 ツールがスクリーン上にその筆跡を表示します。

もし、筆跡が断続的に表示されていたら書く力を少し強めてください。手書きテスト用ツール下部にある「消去」ボタンを押してください。そして、徐々に書く力を強めてみてください。

もし最初の筆跡の表示が太すぎると感じた場合、筆圧を少し緩め、適正な太さの筆跡が得られるよう力を調整してください。

筆跡テスト用ツール

本製品は電子抵抗式ガラス技術で製造した電子ペーパーなので、パソコンに正しく筆跡を受け取れるため、少し力を入れながら書いてください。LCDで練習しながら、筆跡を正確に表示されるかどうか、確認してください。

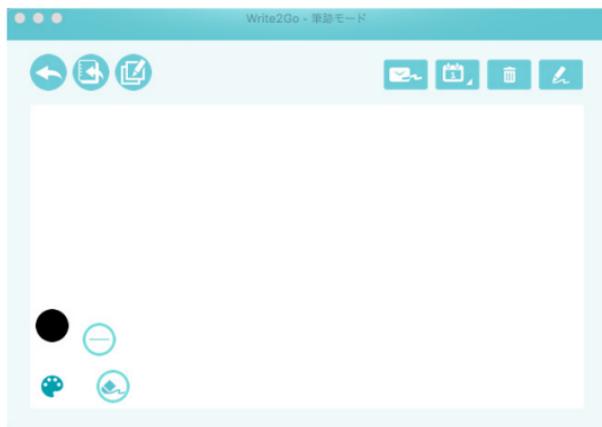


次回表示しません

クリアしてか

Write2Goを使用始めます

第3章 筆跡モード



 : 筆跡をソフトに送る

 : 追加

 : メモを管理ツールに送る

 : 筆跡の設定

 : 筆跡の色

 : 消しゴム

 : Eメール送信

 : Google カレンダーに
エクスポート

 : 筆跡を消去

 : 手書き認識モードに切替える

 : 筆跡の線の幅

1. Write2Go の筆跡モードを使うと署名に使用したり、インスタントメッセージでのチャットに使用できます。署名したいドキュメントを開き（Microsoft Word など）サインを入れたい場所をクリックします。クリックするとアプリケーションの名前が表示されます。（例：Microsoft Word）

- 署名する前に  から  をクリックすることでサインの線幅を変更したり、線の色を  から変更できます。
- 設定後、手書きボード上で署名し、ボード上の「筆跡を消去」ボタンをクリックするか、 ボタンを押して消去し書き直さか、 から  をクリックして部分的に修正します。
- 署名を完了した後、「筆跡をソフトウェアに送る」ボタンを押すか、手書きボード上の  ボタンを押すと、送信先のドキュメント上にサインが表示されます。送信ボタンを再度押すと、送信したサインが再度 Write2Go の画面に表示され、他のアプリケーションに同じサインを送ることができます。



- Write2Go の画面はサインを送信すると自動的に再消化されます。他の署名を作りたい場合は、手書きボードに書き込むと Write2Go の画面（ダイアログ画面）がリコールされて再度自動的に表示されます。

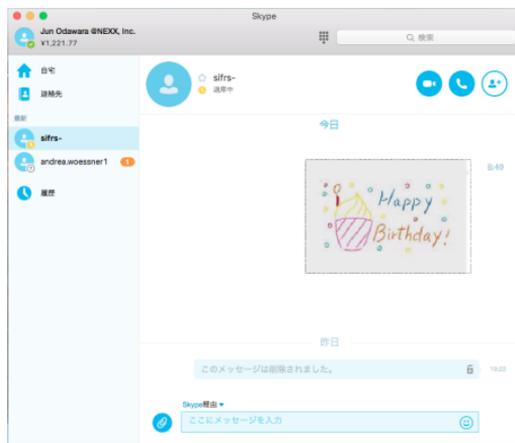
注：筆跡はペンを手書きボードから離れた時に画面に表示されます。

注：PDF ファイルは Adobe バージョン 10.8 以上か、FoxIt バージョン 6.0 以上をサポートしています。

インスタントメッセージ

ドキュメントに署名をする他に、この機能は様々なインスタントメッセージにも適用できます。PCのフォントスタイルの変更だけでなく、手書きの文字やイラストをメッセージに挿入することでチャットがより楽しくなります。

筆跡モードではインスタントメッセージのチャットエリアをクリックし、手書きで書き始めます。書き終わったら送信ボタンを押します、押すと手書きの文字やイラストがインスタントメッセージに送信されます。書き続けたい場合はボードに書き込むと、Write2Goの画面（ダイアログ画面）がリコールされて再表示されます。



サポートされているインスタントメッセージソフトウェア：
 LINE, Facebook Messenger, Skype, QQ, Kakao Talk, Nimbuzz,
 WeChat PC バージョン他、以下のソフトウェアがサポートされて
 います。

アプリケーション	インスタントメッセージソフトウェア
Microsoft Word(Win/Mac)	Line(Win/Mac)
Microsoft Excel(Win/Mac)	QQ(Win/Mac)
Microsoft PowerPoint(Win/Mac)	WeChat(Win/Mac)
Microsoft Outlook(Win/Mac)	Facebook Messenger(Win/Mac)
Microsoft ペイント (Windows のみ)	Skype(Win/Mac)
Microsoft Sticky Notes(Windows のみ)	KakaoTalk(Win/Mac)
Acrobat PDF Reader(Windows のみ)	WhatsApp Web version
Foxit PDF Reader(Windows のみ)	Viber(Windows のみ)
Open Office(Win/Mac)	Nimbuzz PC version(Windows のみ)
Keynote(Mac のみ)	
EverNote(Win/Mac)	
OneNote(Win/Mac)	
Metro Mode App in Win8	
Universal Windows App in Win10	

第4章 メモ管理ツール

署名や手書きによるチャット機能の他に、Write2Goのメモ管理ツールを使用することができます。

筆跡モードのツールバーの  ボタンを押すか、「メモを管理ソフトに送る」をクリックすると、メモを管理したり、将来の使用のためにコンテンツを送信することができます。



書き込むスペースが十分ではない場合、「追加」ボタンをクリックするか、  ボタンをクリックすると、最初の段落を記録し、継続して書き込みができるようになります。書き込み後、「メモを管理ソフトに送る」をクリックするか、  ボタンをクリックすると一つのメモのページに結合されメモ管理ツールに送信されます。

また、各機能ボタンを押すことで、Eメールで他の人にメモを送信したり、Google カレンダーにメモをリマインダーとして追加したり、Skype の連絡先に送信したりすることもできます。 .



メモ管理ツールでは、メモをカテゴリー分けしたり、ノートを追加したりすることで、管理することができます。また、複数のメモをEメールに添付して送信するか、連絡先にカレンダーのリマインダーを送信することができます。

第5章 手書認識モード

手書きボード上のスイッチボタン（筆跡モード/手書認識モード）をクリックして、モードを変更します。



: 全角 / 半角

: 消去

: スペース挿入

: バックスペース

: 改行

: 手書認識文字を消去

: 認識文字を送信

: 手書認識モードを変更

◎ 手書認識モード（時間制限なし） - 日本語

デフォルトの設定は時間制限なし日本語文字認識モードです。手書きボードの上に書き込むと画面上に認識された文字が表示されます。



時間制限なしの手書認識モードでは何文字でも書くことができます。書き終えたらそれぞれの文字を変換候補から選んで変更（修正）することができます。

「メモを管理ソフトに送る」ボタンをクリックするか、「送信」ボタンを左クリックすると Microsoft Word 上の入力カーソルの位置に認識した文字が送信されます。送信後、手書きボード上の筆跡が消去され、新しい単語を書くことができます。

ヒント：間違った単語を書いたり、認識結果が良くない場合、「筆跡を削除」ボタンを押して再度書き直すことができます。

◎ 手書認識モード（時間制限あり） - 日本語

時間制限ありの手書認識モードでは、任意のプログラム（例：Microsoft Word）を開き文字を送信することができます。手書きボードに書いた単語がすぐに認識して Microsoft Word などに送信されます。



時間制限ありの手書認識モードでは、ひとつまたは複数の単語を書くことができます。書くのを止めると、システムが文字を認識し、すぐに Microsoft Word に送信されます。送信後、手書きのボード上の筆跡が消去されます。消去された後の任意の単語を書くと、新しい単語として識別されます。

注：筆跡はペンを手書きボードから離れた時に画面に表示されます。

第6章 設定

設定

設定を開くには、デスクトップツールバーの右上のをクリックします。



もし、手書きの結果が不正確な場合、「タブレットのキャリブレーション」をクリックすると再度キャリブレーションを行うことが出来ます。

FAQ

1. Write2Goがデータを消去している間、点滅を続けませんが正常ですか？

手書きボードのパネルがフラッシュするのは正常です。まずパネルが1.5秒フラッシュし、次いで青色のLEDが同じようにフラッシュします。このプロセスが終わってから、次に書き始めてください。

2. USBケーブルを接続した状態でないと、パネルから手書きデータを消去できなくなりました。

バッテリーの容量が足りないことが原因です。ボタンバッテリーを交換してください。交換方法はマニュアルの3-2を参照してください。（尚、CR2032のバッテリーは日本国内でも各メーカーから販売されていますので、簡単に手に入ります。検索エンジンで購入先を探してください）

Write2Go ユーザーマニュアル

Release: 2016/01

Version: Mac v1.0